

職員による自己評価

A 環境面

- ・ 職員配置数や設備等がどこまで必要なのかわからない。
- ・ 第3者によるラウンドを設けて評価や改善を行なっている。
- ・ 研修の機会を不定期ではあるが、実施しながら人員配置も整えている。

B 児童への支援内容

- ・ 支援計画書に基づいて実施出来ている。
- ・ 外部との交流の場を持つ事が出来ていない。
- ・ アセスメントツールが適切に活用できているかわからない。
- ・ 日々、振りかえの時間を設けて話し合いを行なっている。

C 関係機関との連携

- ・ 常に情報共有を持てている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 定期的に話をして説明や情報提供を行なっている。

E 非常対応

- ・ 定期的に情報発信を行い、事業所の様子を閲覧出来るようにしている。
- ・ 緊急時マニュアルに沿って対応をしている。

保護者による評価

A 環境面

- ・ スペースや設備、配置数が適切である。

B 児童への支援内容

- ・ 支援計画書に基づいて支援の実施がされている。
- ・ 活動内容が固定化されていないかはどちらともいえない。
- ・ 障害のない子どもとの交流はない。

C 事業所からの情報発信

- ・ 支援内容や書類等の説明はされている。
- ・ 父母会の実施はされていない。
- ・ 事業所からの情報発信はされている。

D 非常対応

- ・ 緊急時マニュアルや訓練等がどこまでされているかわからないが、避難訓練は実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 外部との交流や父母会の実施が新型コロナウイルスにより、実施出来ていない。
- ・ 保護者への説明や支援計画書に沿って支援が出来ている。

【相違点】

- ・ マニュアルや訓練実施の不明瞭がある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・保護者との連携や関係機関との連携が取れている。
- ・支援計画書に沿っての支援が出来ている。

事業所の改善点

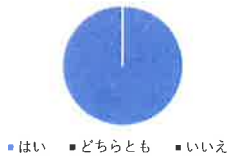
- ・外部との交流や地域貢献の再開。
- ・マニュアルや訓練の表出化。
- ・定期的な研修による職員資質の強化。

事業所の改善への取り組み

- ・外部との交流の場を再開して地域等との交流が出来る環境を作っていく。
- ・事業所でのマニュアルの説明や訓練実施の表出化をしていく。

2022年度 放ディよこはまりバーサイド泉川ひまわり 評価結果

①子どもの活動等スペースが十分に確保されているか。



②職員の配置数や専門性は適切であるか。



③事業所設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画が作成されているか



⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



⑦支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか



⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設けずとも、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



⑭個人情報に十分注意しているか



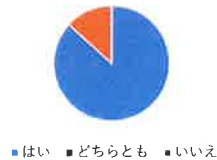
⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



⑰子どもは通所を楽しみにしているか



⑱事業所の支援に満足しているか



